



令和3年度 森上小学グランドデザイン

学校教育目標 「明るく直き心」

令和3年度 教育理念

「考える学校」

～児童の「わからなさ」を基盤に～

「考える学校」を合言葉とする学校づくりと、自分の「わからなさ」を表出できる対話的な活動によって考える力を高め、コミュニティの中で主体的に追究する学び手を育てる。

自他を大切に
優しく温かい子

思いやりの
ある子

豊かな人間性

たくましい
子

健康・体力

あきらめず挑戦し、
粘り強くやり抜く子

《目指す子どもの姿》

考える子

資質能力の育成

自分の考えをもち、
自分で判断できる子

【目指す学校像】 「授業で子どもを育てる学校」

【教育課題と重点】

教育課題

学びのコミュニティをつくること

重点1：授業づくり

振り返りや、学習問題設定時の「わからなさ」や「疑問」を明らかにし、友と関わり合う協働的な学びの質を高める。

重点2：集団作り

生活上の諸問題の解決に向けた協働的な活動を通して、児童間に、思いやり支え合うことのできる人間関係をつくる。

- ・自分の「わからなさ」から始まる協働的な学習の中で、問題を解決する児童
- ・対話的な学習や集団の中での自分の在り様を考え実践できる児童
- ・問題や課題に、あきらめず、粘り強く立ち向かえる児童

自分の学びを友と共に追究する子どもの姿

～「明るく直き心」をもつ子どもの具体～

【教育システム】

○自分の学びを友と共に追究する子どもが育つ学習システム

- ・対話的な問題解決学習を通して、追究時の学び方、振り返りの仕方が習得ができるようにする。
- ・タブレット端末や思考ツールを活用し、自分の考えの道筋や、自分の「わからなさ」を可視化できるようにする。

○職員の研修システム

- ・職員のキャリアアップやスキルアップを図る研修体制を整備する。研修内容は、授業づくり・マネジメント研修、校内外における自己課題研修、タブレット活用研修とする。